

公益財団法人宮崎県環境科学協会 新事業所建設事業 設計業務  
総合評価型プロポーザル審査結果報告書

平成 26 年 10 月 31 日

1 審査結果

審査委員会が、公平かつ厳正な審査をした結果、次の通り受託候補者及び次点候補者を選定しました。その後協会において審査委員会の選定どおりに決定しました。

【受託候補者】 G 者 有限会社メイ建築研究所宮崎

【次点候補者】 F 者 株式会社那須設計

2 審査委員会

	役職	氏名	所属
1	委員長	原田 隆典	宮崎大学教授 工学博士
2	委員	有馬 孝禮	東京大学名誉教授 農学博士
3	委員	中村 孝至	都城工業高等専門学校 建築学科 准教授
4	委員	鍋島 功	前(財)宮崎県建築住宅センター理事長
5	委員	柏田 良二	宮崎県環境科学協会 環境計量士
6	委員	吉瀬 和明	宮崎県環境科学協会

3 審査経過

当協会の事業所は、S56 年の建築以来 33 年余が経過し、業務量の増大などにより分析エリア等の新たな確保が喫緊の課題であり、また地域防災の避難場所としての機能の確保も求められています。そのため環境等分野の測定分析調査の拠点施設として対応できる新事業所を建設することとし、既存事業所の改修を含めて、その必要とされる機能を効果的に発揮できる施設とするため、総合評価方式による提案により、設計等の業務を受託する、創造力や技術力、問題解決力を有した総合的に優れた設計者を広く募集しました。

① HP への公表

平成 26 年 8 月 21 日

事前に審査委員と協議の上、募集要項・基本方針・提案課題等を公表

② 募集要項配布期間

平成 26 年 8 月 21 日～平成 26 年 9 月 16 日

③ 現地見学会の開催

平成 26 年 9 月 6 日 6 社 14 名の参加

④ 参加表明書の提出状況

締切日平成 26 年 9 月 16 日までに 9 者より提出

⑤ 質問書の提出と回答

平成 26 年 9 月 9 日までに寄せられた 7 点の質問に対し、9 月 12 日 HP にて回答

⑥ 提案書の提出

締切日平成 26 年 10 月 1 日までに 7 者より提出 (2 者辞退)

⑦ 一次審査会

提出された提案書、調書等を事務局で確認・集計の後、審査委員に事前に送付  
審査基準に基づき各自評価を行った上、平成 26 年 10 月 6 日の審査会において、協議  
し、投票の上 5 者を選定

⑧ 質問書の提出と回答

平成 26 年 10 月 7 日までに寄せられた 10 点の質問に対し、10 月 10 日 HP にて回答

⑨ 二次提案書の提出

締切日平成 26 年 10 月 22 日までに 5 者より提出

⑩ プレゼンテーション・ヒアリング

平成 26 年 10 月 27 日赤江地区交流センターにて、プレゼンテーション・ヒアリングの  
実施

⑪ 二次審査会

提出された提案書を事務局で確認の後、審査委員に事前に送付  
審査基準に基づき各自評価を行い、平成 26 年 10 月 27 日プレゼンテーション・ヒアリ  
ングの後、審査会において協議し、投票の上 2 者を選定

#### 4 審査会の概要

審査委員会では参加者の名称を伏せ、受付番号で審査を行った。

① 一次審査会

提案書については課題に対しての着眼点、考え方が基本方針を十分理解したものであ  
るかを評価し、取組体制と技術者・事務所の実績、工程表、価格提案書の内容を慎重に  
協議し、投票の上、二次審査対象者として 5 者を選定しました。

② 二次審査会

プレゼンテーション・ヒアリングにおいて専門技術力、取り組み姿勢、コミュニケー  
ション力等を評価し、一次審査の内容と合わせ慎重な協議を行いました。投票の結果、  
審査委員の総意を得て G 者を受託候補者、F 者を次点としました。

#### 5 講評

柔軟かつ高度な専門技術の経験と実績を有する設計者を選定するため、既存事業所  
を含めた敷地全体の建物配置計画、業務を円滑に行うためのゾーニング計画、建設コス  
ト・維持管理コストの低減のための建物・設備の考え方、災害時の機能の提案、周辺へ  
の配慮を含めた町づくりの視点、地域資源活用の方法、業務上の配慮事項等の提案を求  
めました。この趣旨に応じ、意欲的な提案がなされ、提案者の苦勞と努力に厚く御礼申

上げます。

主な論点は、専門の技術力と設計に対する発想を持ち、問題解決力の面で説得力のある提案がなされているか、業務実施方針と技術者の実績、事務所の実績を含めた取組体制の能力、基本構想・方針・業務内容の理解、及び提案の的確性と実現性、今後の打ち合わせ等に必要の本業務に対する熱意とコミュニケーション能力を有しているか等を評価しました。いずれも参加者は豊富な実績を持ち、優秀な人材を配置し、密度の高い提案がなされていました。

受託候補者となった G 者は、多くの課題を幅広く研究・検証され、提案された内容は密度が濃く具体的で、ヒアリングにおいて的確な回答をされ高い評価となりました。

最後に公益財団法人宮崎県環境科学協会 新事業所建設事業 設計業務総合評価型プロポーザルに応募いただき、貴重な時間を費やして真摯に努力された関係各者に心より感謝申し上げます。

公益財団法人宮崎県環境科学協会  
理事長 石井 浩二